

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月20日		記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	土木部		課名	相模湖建設課	課長名	山崎勝男
平成19年度部名	土木部		課名	相模湖建設課	課長名	山崎勝男
事務事業名	公共下水道整備補助事業（無指定区域分）					
予算上の事務事業名	無指定区域分（相模湖建設課）					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32610		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理					
施策名	第1施策 汚水対策の推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	下水道法第3条（管理）					
3 個別計画の概要			概要			
計画名	無指定区域の公共下水道（汚水）整備補助事業		無指定区域内 整備予定面積：221ha 人口：6,870人 総事業費：96.4億円 世帯：2,200世帯			
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼			5 事業開始年度	▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
公共用水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図るため、無指定区域内の生活排水対策の一環として無指定区域の公共下水道（汚水）整備事業のうち、補助対象となる下水道を整備するもの。				下水道法事業認可区域（相模湖町区域）		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
整備工事 5件 （整備面積8.8ha） 設計・地質土質調査委託 3件						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
公共下水道整備国庫補助事業（市街化区域・市街化調整区域分）						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	106,120	146,000	164,898	
一般財源	0	0	27,770	17,400	9,336	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	78,350	128,600	155,562	
人件費の合計	0	0	11,800	14,800	17,700	
事業コスト合計	0	0	117,920	160,800	182,598	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 （主たる事業名）	公共下水道整備補助事業（無指定区域分）			対象名称 と単位	工事件数（件）	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト（主たる事業）	0	0	112,647	155,473	177,271	
対 象 数	0	0	5	6	9	
単位あたり経費（円）	#DIV/0!	#DIV/0!	22,529,400	25,912,167	19,696,778	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.15	0.76	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	工事完了件数（件）	指標式と指標の説明	工事完了件数（件）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	5.0		
目標	0.0	0.0	5.0	6.0	9.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	整備面積（ha）	指標式と指標の説明	整備面積（ha）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	8.8		
目標	0.0	0.0	8.8	8.3	4.1
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
平成19年度は従来からの特財（国庫）に加え、水源環境保全・再生施策市町村交付金（県費）が投入され、相模湖、津久井湖を始めとする公共水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上が図られる。					
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 公共下水道の早期整備と供用開始された家屋における宅内排水設備の早期実施に向け、水洗化普及員や市広報による啓発活動の実施。			1 5 課題として認識されたこと 平成20年度より国庫補助対象管きよの適用範囲が大幅に減少する。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
			・当面、用途地域の隣接地までの拡大を図り、公共水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に努める。		